

赤ら顔

1.赤ら顔とは顔面の一部または全体の発赤で、原因としては体質、血管拡張ホルモンの分泌異常、老化、癬痕、慢性炎症、毛包中内の細菌などがあります。

2.治療としてはトラネキサム酸の内服やビタミンE誘導体やビタミンC誘導体(Mdear VC-IP)、硫黄カンフルローション、寄生虫駆除薬などの外用が有効ですが、抗菌剤の内服や抗真菌剤の外用も効果がある場合があります。

3.Long-pulsed YAG laserであるcutera社製のgenesisの中空照射またはLuminus社のM22 (IPL)が大変有効です。照射を3~10分くらいで行います。真皮上層のコラーゲンに熱エネルギーを与えることによって、拡張した血管壁の弾力を回復し赤みを減少させてゆきます。2週間から1か月の間隔で数回の治療が必要です。施術後はお化粧してお帰りいただけます。副作用は局所の熱感ですが、冷却装置を備えており安全です。

Vascular

CUTERA[®]

Treatment

NOSEVEINS



Pre-Treatment



After Treatment

Fitzpatrick
Skin Type: -

Fluence:
130 J/cm²

Pulse Width:
20 ms

Spot Size:
3 mm

Number of
Treatments:
1

Photos courtesy of Daniel Ring, MD

NOSEVEINS



Pre-Treatment



After Treatment

Fitzpatrick
Skin Type: -

Fluence:
130 J/cm²

Pulse Width:
20 ms

Spot Size:
3 mm

Number of
Treatments:
1

Photos courtesy of Daniel Ring, MD

